

大阿蘇

三好 達治

雨の中に馬がたっている

一頭二頭子馬をまじえた馬の群れが 雨の中にたっている

雨は蕭々と降っている

馬は草をたべている

しっぽも背中もたてがみも ぐつしよりとぬれそぼって

彼らは草をたべている

草をたべている

あるものはまた草もたべずに きよんとしてうなじを垂れてたっている

雨は降っている 蕭々と降っている

山は煙をあげている

中岳の頂から うすら黄いろい 重つ苦しい噴煙が濛々とあがっている

空いちめんの雨雲と

やがてそれははじめもなしにつづいている

馬は草をたべている

草千里浜のとある丘の

雨に洗われた青草を 彼らはいっしんにたべている

たべている

彼らはそこにみんな静かにたっている

ぐつしよりと雨にぬれて いつまでもひとつところに 彼らは静かに集まっている

もしも百年が この一瞬の間にたったとしても 何の不思議もないだろう

雨が降っている 雨が降っている

雨は蕭々と降っている